

特集

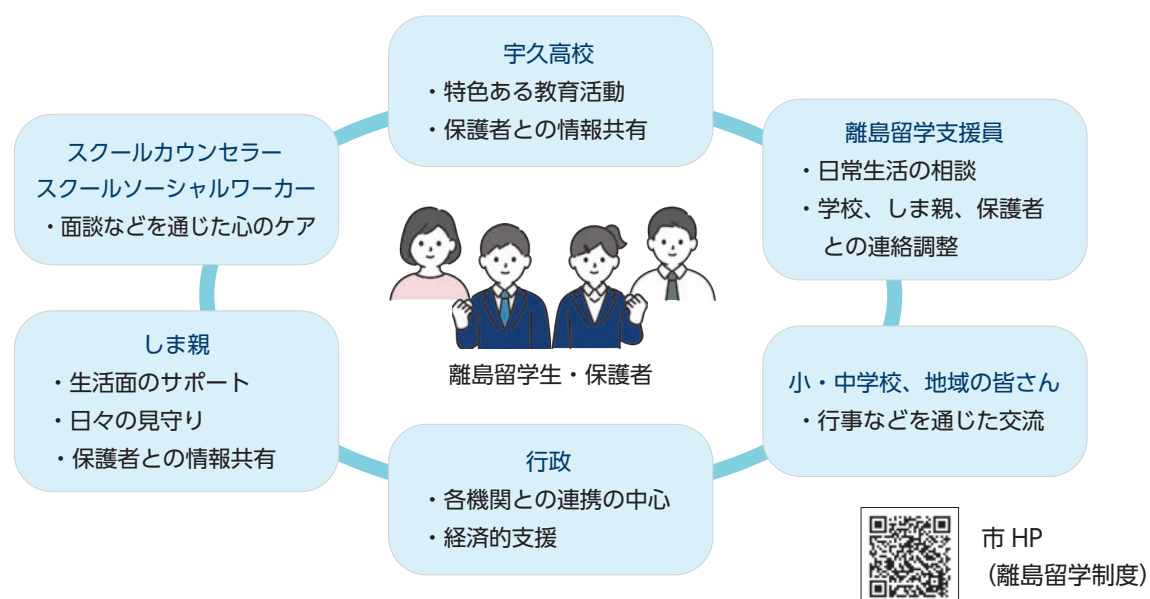
君の「好き」が武器になる。

～宇久高校 離島留学制度～

離島留学制度とは、特色ある学びと豊かな自然・文化、人とのつながりの中で、自分らしさを見つけ、希望する進路を実現するための制度です。今年度から、佐世保市の離島・宇久島にある宇久高校で、離島留学制度が始まりました。今回の特集では、宇久高校の特色ある取り組みや魅力、離島留学生やその挑戦を支える人たちの思いを紹介します。

離島留学生へのサポート

離島留学生が安心して宇久で学び、生活できるよう、学校・地域・行政が連携した支援体制を整えています。また、ホームステイ費や通学費の補助など、経済的な支援も行っています。



ホームステイ費補助



留学生の離島生活を支援
月額 5 万円

通学にかかわる交通費補助



バス代全額
または自転車等購入費上限 10 万円

親子留学補助



親子での離島生活を支援
月額 3 万円

宇久高校ってどんな学校？

宇久高校では、「探究活動 Uku Labo」を教育活動の柱としています。この教育活動を基盤として、離島留学制度「Uku サイエンスパーク」がスタートしました。島の豊かな自然環境と最先端技術を組み合わせ、離島だからこそ実現できる探究活動に取り組むことができます。ここでは宇久高校の特色ある学びを紹介します。

1

探究活動 Uku Labo



宇久島の豊かな自然・文化と DX (デジタル・トランスフォーメーション) などの最先端技術を組み合わせた新たな探究活動です。

Uku サイエンスパーク

- マリンパーク ～海～
 - ・ウミガメの産卵調査や海洋プラスチック問題研究
 - ・赤ウニの飼育研究、水質の計測や分析技術の学び
- ランドパーク ～陸～
 - ・希少な動植物 (絶滅危惧種) などの調査、研究
 - ・地質や岩石などの調査、研究
- スペースパーク ～空～
 - ・宇宙空間における光通信技術の学び
 - ・ドローンを活用した海岸地形等の調査、分析

2

大学・企業等との連携

九州大学や長崎大学の他、企業などからも講師を招き、講義と研究活動を行っています。



3

DX ハイスクール事業指定校



ハイスペック PC や 3D プリンタ、ドローン、VR ゴーグルなどの最新機器を導入しており、探究活動をより科学的に深めることができます。

4

個に応じた学習指導



一人一人の進路希望に応じた少人数授業を行っています。細かなサポートで、多岐にわたる進路希望を実現しています。

5

生徒の主体的活動



生徒がやりたいことを実現する「ユビトマ企画」や校則を停止する「No Rule Weeks」など、主体性を育てる取り組みを行っています。

宇久高校 Instagram

学校生活や探究活動の様子など
宇久高校の日常を発信中！



宇久高校
Instagram

離島留学生の宇久島での生活

今年度、宇久高校の離島留学生として入学した生徒に、離島留学を決意したきっかけや、宇久島での暮らしについて話を伺いました。



自分で選んだ道を信じて 勇気ある一步を踏み出す

宇久高校 1 年 離島留学生 山本 千紗子^{ちさこ} さん

「私に合うかも」と思えた宇久高校

離島留学を知ったきっかけは母の勧めでした。パンフレットを見て宇久高校に興味を持ち、体験入学で初めて宇久島を訪れました。豊かな自然や人の温かさに触れ、「私に合うのはここかも」と感じました。また、私が通っていた中学校が全校生徒約 1,000 人の学校だったため、少人数ならではの学びにも魅力を感じ、宇久高校への進学を決めました。入学前は、学校生活や勉強への不安もありましたが、実際に授業を受けてみると、先生方が丁寧に教えてくださり、今まで分からなかったことも理解できるようになりました。先生や先輩との距離も近く、毎日楽しく学校生活を送っています。

宇久ならではの「好きを究める」^{きわ}学び

一番印象に残っている授業は、探究活動です。宇久高校では「好きを究める」をテーマに、自ら問いを立てて学びを深めます。今は探究テーマを考えている段階で、「どんなことを探究しようかな」とワクワクしています。先輩たちが取り組んだ「赤ウニの養殖」をはじめ、宇久ならではの探究活動ができます。また、ドローン撮影体験や大学の教授による出前授業など、新しい学びにたくさん出合える機会があることも魅力です。



人の温かさに包まれる毎日

現在は、しま親さんの家で生活しています。毎日たくさん話をしたり、おいしいご飯を作ってもらったりと、本当の家族のように温かく接してもらっています。地域の皆さんも気軽に声を掛けてくださり、人の温かさを日々感じ

ています。好きな場所は海で、砂浜を歩いたり海を眺めたりする時間も、宇久島での暮らしの楽しみの一つです。



自分の意思で決めることが大切

離島留学は、親元を離れて新しい環境に飛び込むので、とても勇気が必要だと思います。でも大切なのは、誰かに言われたからではなく、本当にやりたいことや行きたい場所を自分で選ぶことだと思います。迷っている人がいたら、まずは体験入学に参加して、宇久高校の雰囲気を感じてほしいです。今回の体験入学では、「宇久島ガイド」を担当します。実際に暮らして感じた宇久島の魅力を、来てくれる皆さんに伝えたいです。ぜひ自分の目で見て感じ、選んだ道に自信を持って、勇気ある一步を踏み出してほしいと思います。

(取材日 6 月 1 日)

離島留学生の宇久島での生活を 動画でプラス



YouTube「佐世保市チャンネル」
広報させばプラス

離島留学生を支える人たち

宇久高校の離島留学では、学校と地域が連携して留学生を支えています。「しま親」は、留学生を迎え入れ、日々の生活を支える地域の里親です。また、「離島留学支援員」は、学校・しま親・保護者をつなぎながら、日常生活のサポートなどを行い、安心して学べる環境づくりを担っています。今回は、離島留学生を支える学校と地域の思いについて、宇久高校の先生と離島留学支援員の 2 人に話を伺いました。



宇久高校

教諭

小村 員壽^{かずひさ} 先生 (写真左)

離島留学支援員 境 邦子^{かつこ} さん (写真右)

少人数だからこそ多くの経験を

小村先生 宇久高校は、少人数だからこそ、一人一人の興味関心や進路に応じた学びが受けられます。また、少人数だからできないと考えるのではなく、他校で当たり前に行われていることをできる限り実施し、生徒たちがさまざまな経験を積めるよう取り組んでいます。より多くの経験をしてほしいですし、その一つ一つが生徒たちの成長につながると考えています。

勇気ある挑戦を学校と島全体で支える

小村先生 15 歳で親元を離れ、知らない土地で新しい生活を始めることは、とても大きな挑戦です。離島留学生の姿を見ていると、その勇気が本当にすごいなと感じます。慣れない環境で不安もあると思うので、毎朝の様子や表情を見ながら、困っていることはないか、無理をしていないかをさりげなく見守るようにしています。

境さん 離島留学は学校だけで成り立つものではありません。しま親さんをはじめ、地域の皆さんが声を掛けたり見守ったりしてくださることで、生

徒も安心して生活することができます。私は学校と地域、学校と行政をつなぐ役割を担っています。地域の皆さんの温かい見守りが生徒たちの心の支えになるよう、支援の輪を広げながら、島全体で離島留学生を支えています。

宇久島だから育める、人とのつながり

小村先生 離島留学生には、多くの人と関わりながら成長してほしいと思っています。困ったときや悩んだときは一人で抱え込まず、周りの人を頼ることも大切です。宇久では、先生や地域の皆さんとの距離が近く、人とのつながりを深く感じることができます。人に頼る経験を重ね、卒業する頃には周りから頼られる存在になってほしいです。

境さん 宇久島には豊かな自然や文化があり、島全体が学びの場になっています。学校だけでなく、地域の皆さんとの関わりや日々の暮らしの中にも多くの発見があります。ぜひ一度体験入学に参加して、宇久の温かい雰囲気を感じてほしいです。

(取材日 6 月 1 日)



9/12^①、13^② 第2回離島留学体験入学

内容 1 日目：学校生活体験、2 日目：宇久島体験

対象 全国の中学生 (宇久地域以外で佐世保市在住の中学生も参加可能)

申込 8/27^③までに市 HP 内申し込みフォームにて
※中学生と保護者 1 人は交通費 (佐世保港～宇久平港) と
宿泊費の補助あり。

※宇久高校を受験するには、保護者同伴で来島し、体験入学に参加するなど、事前説明を受ける必要があります。



市 HP
(体験入学)



①宇久高校 ☎ 0959-57-3155

特集に関する問い合わせ 宇久行政センター産業建設課、住民課 ☎ 0959-57-3113